

問答解説

人事専門家のキャリア考

中堅人事マンA君vs人事コンサルMさん — 経営者への道 —

株式会社 みのり経営研究所 代表取締役 秋山 健一郎

■ 人事専門家への期待

現在人事の専門家として活躍している人は大勢いるが、皆さん様々な経歴をお持ちである。伝統的な日本企業で長年人事を続けて来られた方は、その道のプロとして社内で頼られる存在となっている。また人事のプロとして様々な会社を経験して、ついに大手企業の人事担当役員まで上り詰めた人もいる。あるいは著者のように全く違った畑から、人事の道に入り込んで、人事のコンサル会社を営む人間もいる。一口に人事専門家のキャリアと言っても千差万別である。

しかし共通しているのは人事の専門家の位置づけが一昔前とは大きく変わってきており、皆経営に深く関わった役割に就いている。特定の分野の専門家として重宝がられるという存在ではなく、経営の一翼を担う戦略的な存在として重視されている。冷静に考えれば当然のことで、企業経営の根幹は「社員＝人」であり、その社員の活躍いかんが業績を左右するからである。今までは人事の特定の分野の専門知識があれば事足りた人事の仕事が、今は経営の視点が求められる役割となっている――。

目次

- 人事専門家への期待
- 人事部員の悩み
- 人事コンサルタントへの質問
- キャリアに対する不安
- 人事の仕事への誤解
- キャリアを考えるうえでの経営的視点
- 人事の仕事の理解：役割の構造
- 長期的キャリアの設計
- 人事の仕事は会社の経営そのもの
- 人事専門家のキャリア—経営者への道
- 人事専門家の将来



● 秋山健一郎 (あきやま けんいちろう)

一橋大学商学部卒業。三井物産株式会社、いすゞ自動車株式会社、DHL Japan等での実務経験を経て、ハイコンサルティンググループ/パートナー、プライスウォーターハウスクーパースコンサルティングにて戦略コンサルティングサービスのパートナー。組織/人事/戦略分野のコンサルティングを中心に20年のコンサルティング経験。日本を中心に欧州、米国等世界中の様々な企業を支援。また2001年9月より2002年5月まではIBM Business Consulting Service (現在 IBM Japan) の人事部長としてPwccとIBMの人事制度統合を推進。
<http://www.minori-mri.jp/>